

【映像コンテンツ視聴に関する調査】**映像配信サービスが続々登場するなか、約7割がレンタルビデオショップを利用****その反面、不満を持つ人が95% 理由は「返却が面倒(66.1%)」、「新作が貸出し中(62.3%)」****これに対して有料映像配信サービスの利用意向は高く、今後の利用者拡大が見込まれる****スマートフォン、タブレット端末の普及に伴い、映像視聴スタイルにも変化の兆し**

株式会社サーベイリサーチセンター(本社:東京都荒川区、代表取締役:藤澤士朗)は、平成24年5月26日から5月27日に、「映像コンテンツ視聴に関する意識調査」を実施しました。

その結果、レンタルビデオを利用する人の95%が何らかの不満を感じると回答。これに対して映像配信サービスの利用意向は高く、また、スマートフォン、タブレット端末の利用拡大が予想されるなど、利用サービス、視聴環境ともに今後の変化が示唆される結果となりました。

【調査概要】 「映像コンテンツ視聴に関する意識調査」

- ◆ 調査期間 : 2012年5月26日(土)~5月27日(日)
- ◆ 調査サンプル数 : 523名(レンタルビデオ、映像配信サービスなどを普段から利用する15~69歳の男女)
- ◆ 調査地域 : 全国
- ◆ 調査方法 : インターネット調査

【調査結果トピックス】**1. 現状の利用サービス**

- ・現在利用しているサービスは、「レンタルビデオショップ」70.6%、「無料映像配信サービス」40.0%、「宅配レンタル」32.3%
- ・利用ジャンルは「映画」が約9割と最多、以下「アニメ」、「テレビドラマ」。一方、利用本数では「海外ドラマ」、「洋画」、「アニメ」が多い

2. 利用サービスに対する不満

- ・レンタルビデオショップの不満の1位は「返却が面倒」66.1%、2位が「新作が貸出し中」62.3%
- ・延滞金支払いの経験は26.6%が経験ありと回答、最高支払額は12,320円

3. 映像配信サービスに関するニーズ

- ・有料VOD: 利用中16.8%→利用意向57.9%、有料携帯動画: 利用中5.4%→利用意向39.6%
- ・映像配信サービスに対するイメージは「店舗へ行く必要がない」(73.4%)、「返却する手間が省ける」(66.3%)
- ・料金定額制について、月額「1,000円」許容が42.3%、「500円」許容が67.9%

4. 視聴環境の変化

- ・スマートフォン: 利用中21.4%→利用意向46.1%、タブレット端末: 利用中12.8%→利用意向44.6%
- ・携帯デバイスを最も利用する場所・シーンは「自宅」が72.2%と最多。自宅外では「移動中」12.4%、「空き時間」10.7%

【調査結果】

1. 現状の利用サービス

・現在利用しているサービスは、「レンタルビデオショップ」70.6%、「無料映像配信サービス」40.0%、「宅配レンタル」32.3%
 ・利用ジャンルは「映画」が最多で、以下「アニメ」、「テレビドラマ」と続く。一方、利用本数では「海外ドラマ」、「洋画」、「アニメ」が多い。

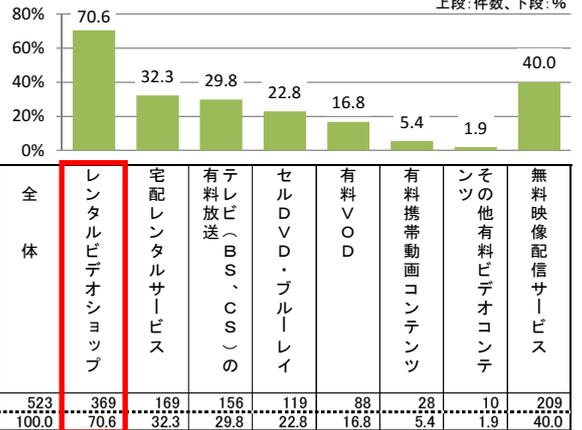
ビデオコンテンツサービス(下記注参照)を月1回以上利用している層を対象として、利用状況やサービスに対するイメージなどを尋ねた。

現在利用しているビデオコンテンツサービス(複数回答)は、「レンタルビデオショップ」が70.6%で最も多く、以下、「宅配レンタルサービス」(32.3%)、「テレビ(BS、CS)の有料放送」(29.8%)となっている。なお、映像配信サービス(有料)については、「有料VOD」が16.8%、「有料携帯動画コンテンツ」が5.4%となっている。参考として、「無料映像配信サービス」は40.0%となっている。

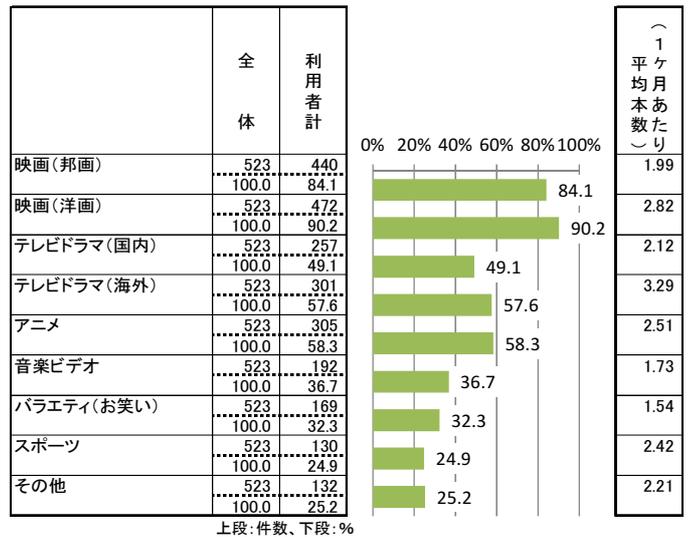
利用コンテンツのジャンルについては、「映画」が洋画(90.2%)、邦画(84.1%)と割合が非常に高い。一方、利用本数(1ヶ月あたり)については、「テレビドラマ(海外)」(3.29本)が最も多く、以下「映画(洋画)」(2.82本)、「アニメ」(2.51本)と続いている。

注:当調査で「ビデオコンテンツサービス」とは、「レンタルビデオ、宅配レンタルサービス、VOD(ビデオ・オン・デマンド)、映像配信サービスなどを含め、広い意味でのビデオ・映像(動画)コンテンツを視聴する有料サービス」と定義している。

(図1) 現在利用のビデオコンテンツサービス(複数回答) 上段:件数、下段:%



(図2) カテゴリーごとのコンテンツ利用状況と1ヶ月あたりの利用本数



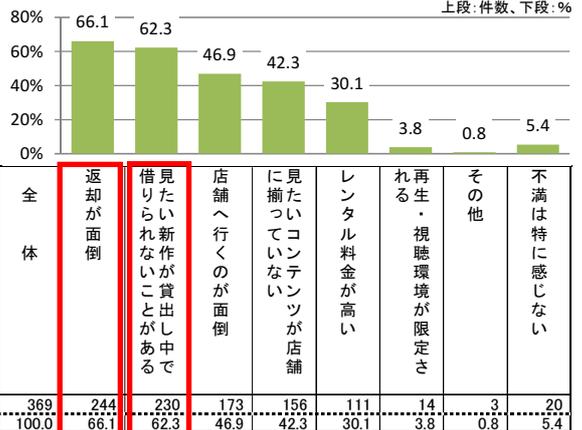
2. 利用サービスに対する不満

・レンタルビデオショップの不満の1位は「返却が面倒」66.1%、2位が「新作が貸出中」62.3%
 ・延滞金支払いの経験は26.6%が経験ありと回答、最高支払額は12,320円

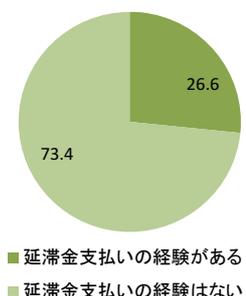
レンタルビデオショップの利用者に対し、利用上の不満点を尋ねたところ、「返却が面倒」(66.1%)、「見たい新作が貸出し中で借りられないことがある」(62.3%)が6割超と割合が高くなっている。なお、「不満は特に感じない」は5.4%に留まり、ビデオショップ利用者の大部分が何らかの不満を感じている。

また、「延滞料金」の支払いの経験は「ある」が26.6%となっている。なお、本回答者中、延滞金支払いの最高額は12,320円であった。

(図3) Q9. レンタルビデオショップの不満点(複数回答) 上段:件数、下段:%



(図4) 延滞金支払いの経験



3. 映像配信サービス(有料)に関するニーズ

- ・有料 VOD: 利用中 16.8% → 利用意向 57.9%、有料携帯動画: 利用中 5.4% → 利用意向 39.6%
- ・映像配信サービスに対するイメージは「店舗へ行く必要がない」(73.4%)、「返却する手間が省ける」(66.3%)
- ・料金定額制について、月額「1,000 円」許容が 42.3%、「500 円」許容が 67.9%

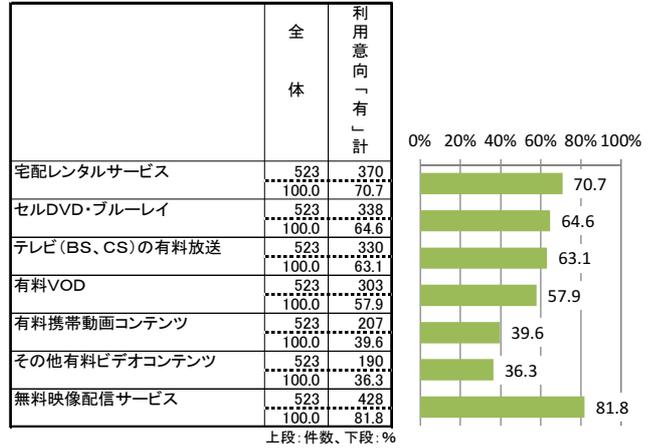
「1.現状の利用サービス」で示した通り、現在利用している映像配信サービス(有料)については、「有料 VOD」が 16.8%、「有料携帯動画コンテンツ」が 5.4%となっている(複数回答)。

これに対して今後の利用意向が「有」とする割合は「有料 VOD」が計 57.9%、「有料携帯動画コンテンツ」が計 39.6%となっており、今後の利用者拡大が見込まれる。

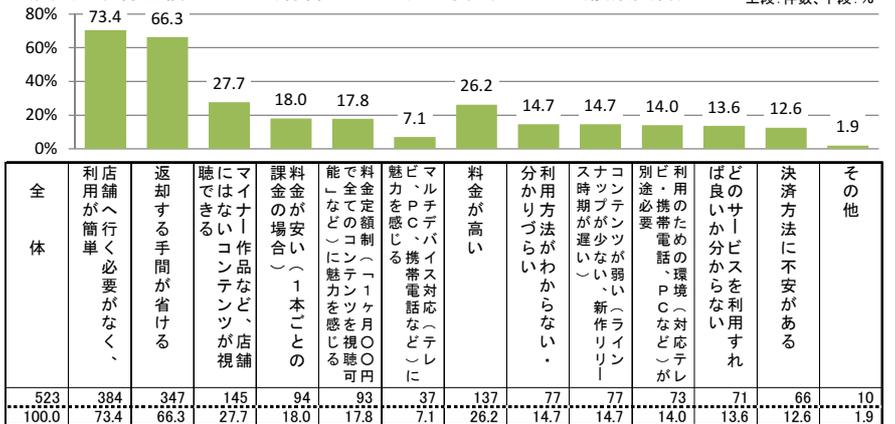
映像配信サービス(有料サービス)に対するイメージとしては、「店舗へ行く必要がなく、利用が簡単」(73.4%)、「返却する手間が省ける」(66.3%)の割合が高い。

また、映像配信サービス料金定額制について、月額での許容料金は「1,000 円」までが計 42.3%、「500 円」まででは計 67.9%となっている。

(図5) レンタルビデオショップ以外の映像コンテンツの今後の利用意向



(図6) 映像配信サービス(有料サービス)に対するイメージ(複数回答)



4. 視聴環境の変化

- ・視聴環境の変化: スマートフォン(利用中: 21.4% → 利用意向: 46.1%)、タブレット端末(利用中: 12.8% → 利用意向: 44.6%)
- ・携帯デバイスを最も利用する場所・シーンは自宅(72.2%)が最多。自宅外では「移動中」(12.4%)、空き時間(10.7%)

映像コンテンツの視聴のデバイスについて、現在の利用デバイスは「テレビ」(80.5%)が最も多く、「PC」(74.8%)と続く。

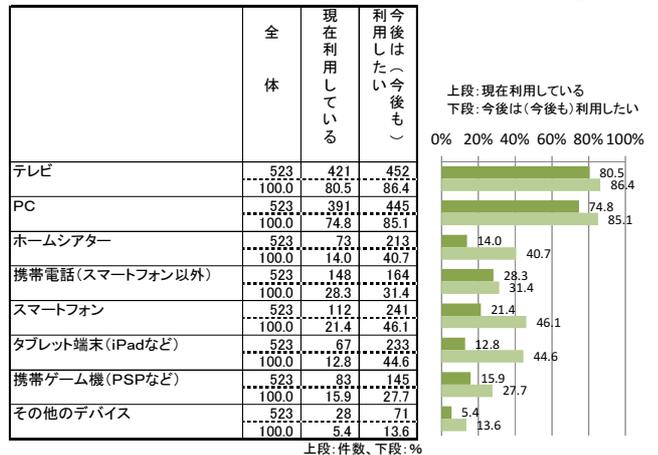
携帯デバイスについて、利用中は「携帯電話(スマートフォン以外)」(28.3%)、「スマートフォン」(21.4%)、「携帯ゲーム機」(15.9%)、「タブレット端末」(12.8%)の順となっている。

なお、今後の利用意向については、「スマートフォン」46.1%、「タブレット端末」44.6%と続き、携帯デバイスでの視聴が期待される。

映像コンテンツ視聴のために携帯デバイスを最も利用する場所・シーンについては、「自宅」(72.2%)が最も多い。

自宅外での利用については、「移動中(電車・バスなど)」(12.4%)、「空き時間・ひまつぶし(会社や学校など)」(10.7%)となっている。

(図7) 映像コンテンツ視聴デバイスの現在の利用状況と今後の利用意向



(図8) 携帯デバイスを映像コンテンツの視聴のために最も利用している場所・シーン

